

第七十四回  
貴帝國議會院

# 保險業法改正法律案特別委員會審議事項三級第一項

昭和十四年三月十三日(月曜日)午後二時  
二十五分開會

リ會議ヲ開キマス、會我子爵ハ外ニ委員會ガアリマスノデ、直グ質問シタイト云フコトデゴザイマスカラ、會我君

○子爵會我祐邦君 私ハ此ノ法案ヲ審議致  
シマスニ當リマシテ、素人デゴザイマスガ  
爲ニ一般保險ト云フモノノ知識ヲ或點迄ヲ  
明カニ知リタイト思フノデゴザイマシテ、  
現在ノ保險ノ狀態ガドウ云フ風ニナッテ居  
ルカ、之ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス、  
私ノ質問ハ多數ゴザイマスケレドモ、之ヲ  
一ツノ御返答ヲ願フヨリモ、纏メテ御返  
答ヲ願ツタ方ガ時間ノ上ヨリ便宜カト思ヒ

ス、第一ニ承リタイコトハ、震災ノ後ニ起  
リマシタ出來事デゴザイマス、即チアノ節  
ハ保険會社ハ、所謂保険諸券ノ、之ニ書イ  
テアリマス所ノ條項ニ依リマシテ、不可抗  
力デアルガ爲ニ拂フコトガ出來ナイト云フ  
立場ヲ固執致シマシタ、然ルニ一般民衆ノ  
聲、其ノ他罹災者ニ同情致シマシテ、政府  
ノ命令ニ依リマシテ確カ一割デアッタカヲ

拂ッタノデゴザイマス、是ハ法理論カラ申シ  
マスレバ色々ノ理窟モゴザイマシタラウケ  
レドモ、實際問題ト致シマシテ餘儀ナク之  
ヲ保険會社ハ承諾シタノデゴザイマス、而  
シテ其ノ後ニ於キマス所ノ保険會社ハ何ニ  
苦シニ居ルカト申シマスト、アノ時ニ政府  
カラ借入ヲ致シマシタ利拂ト云フモノニ苦  
シニ居ルコトハ事實デアルヤニ私ハ聞イテ  
居ルノデアリマス、即チ有數ナル所ノ大キ  
ナ會社ノ二三ノモノハ之ヲ拂ヒ得テ居リマ  
スルケレドモ、現在ニ於キマシテモ此ノ時  
ノ、言換ヘマスナラバ無理ナ支出ヲ強要セ  
ラレタ結果ガ、會社ノ營業ニ非常ナル影響  
ヲシテ苦ミツ、アルト私ハ思フノデアリマ  
ス、政府ハソレ何ト御覽ニナルカト云フ  
コトガ其ノ一點デゴザイマス、モウ一ツハ  
保険ト云フコトニ付キマシテ、定義デハゴ  
ザイマセヌガ、何處カニ書イテゴザイマセ  
ウ、私共能ク拜見致ス時間ガゴザイマセヌ  
ガ、所謂損害保險及生命保險、或ハ動產保  
險ナドヲ含シニ居ルモノト思フノデアリマ  
スガ、今日ノ日本ニ於キマス所ノ保険會社  
ノ狀態ハドウ云フ風ニ相成ツテ居リマスカ、  
言換ヘマスレバ、モウ新シイ會社ハ許可シ

ナイト云フ御方針デアリマスルカ、現在ノモノヲ統一又ハ之ヲ鞏固ニスルヤウニナサゴザイマス、又火災保険ノ方デ申シマスト、  
ル御方針デアリマスカ、是ガ質問ノ第二デ  
協定ト云フモノガ屢々行ハレルノデゴザイ  
マス、曾テ銀行ノ方デモ預金ニ對シマスル  
協定ガ破レルト云フコトデ、所謂親會社ト  
申シマセウカ、大キナ會社ノ間ニ協定ガ出  
來マシテ、是ハ比較的今日デモ能ク守ラレ  
テ居ルコトヲ聞キマスルガ、火災保険ニ於  
キマシテハ、或ハ生命モ然リカモ知レマセ  
ヌ、幾度か協定ヲ實行スベキ所謂管理會社  
ト云フモノガ出來マシテ、之ヲ破ルモノハ、  
大キナ聲デ言ヘヌカモ知レマセヌガ、却テ  
管理會社ト云フモノガ破ツテ居ルト云フ事實  
ヲ私共ハ知ツテ居ルノデアリマス、デ現在ハ  
政府ガ斯クノ如ク立派ナ法案ヲ御作リニナ  
リマシテ、一ハ以テ商法ノ改正ニ伴フ結果  
ニ於テ不備ナ點ヲ完備セラレ、二ニハ保險  
會社ノ成績ガ日本ノ生活ニ直面シテ離ルベ  
カラザルモノナル程ノ重大ナモノニナツテ來  
ルカラ、其ノ發達ヲ益助長スル爲ニ此ノ法  
案ヲ御提出ニナツタト云フコトヲ、御説明ノ  
間ニ聽イタノデアリマスガ、果シテ保險會

シヲナサルモノニ對シテ期待ニ背カナイヤ  
ウニ行クデアリマセウカ、現在ノ協定ハ守  
レズニ居ルノデハナカラウカ、然ルニ守レ  
ズニ居ルヤウナ狀態デアレバ、政府ニ對ス  
ル對策ハ、法規ノ上デハ罰則ハ色々アリマ  
スガ、實情ヲザックバラシノコトヲ言フト、  
ドウデアリマセウカト云フ 疑ヲ持ツテ居ル  
ノデアリマスガ、其ノ點ハ將來ドウ云フ風  
ニ御考ニナシテ居リマスカ、モウ一ツハ保険  
會社ノ基礎ト云フモノハ何ニ置カレルカト  
云フト、數學ノ上ニ置カレテ居ルノデアリマ  
ス、生命保險ノ方ハ數學ノ基礎ガハッキリシタ  
モノガ出得ルノデアリマス、是ハ申ス迄モナク  
コトガ分ツテ居リマス、今私ノ言フ火災保  
險ニ對シマシテハ、此ノ計數ノ基礎ト云フ  
モノガ何等ノ根據ガナイコトニナリ得ル、  
言換ヘマスレバ火事ノナイヤハマルデナイ、  
一度風向ノ惡イ乾燥シタ時期ニハ、曾テア  
リマシタ函館ノ大火ノ如キ、サウ云フ風ニ  
一町村悉ク鳥有ニ歸シテシマフト云フコト

モノガ數學的ニ證明サレルコトガ出來ナイ、  
是ハ何人モ知ツテ居ル譯デアリマシテ、其ノ  
結果ハ何ニ依ツテ補フコトガ出來ルカ、保険  
會社ノ資力ヲ以テハソレヲ「カヴァー」スル  
コトガ出來マセヌカラ、茲ニ於テ再保險ト  
云フモノガ行ハレテ居ルト私ハ思ツテ居ル、  
而シテ此ノ再保險ガドウ云フ風ニ行ハレテ  
居ルカ、現在ハ能ク存ジマセヌガ、隨分外  
國會社ノ日本ニ入ツテ來テ居リマスモノモ  
多々ゴザイマシテ、再保險會社ト云フモノ  
ガゴザイマス、又外ニモゴザイマス一ツカ  
二ツ、ソレ等ニ危險率ヲ分擔セシメル上ニ  
於テ、所謂再保險會社ト云フモノガアリマ  
スノデスガ、過去ニ於キマスル實際ヲ照シ  
テ見マスト云フト、再保險會社ノ事業ノ強  
ク發達シ得ナイ理由ガ明カニアルノデゴザ  
イマス、元受會社ガ物件ヲ取ツテ、其ノ同ジ  
物件ヲ總テ再保險會社ニヤレバ、數學ノ上  
カラハ其ノ根本收入ニ於テ、率ニ於テ、矢  
張リ再保險會社モ儲ケテ行カナケレバナラ  
ナイ理窟デアル、然ルニ過去ニ於キマスル  
業績ヲ聞キマシタ所ニ依リマスト、ソレガ  
斯クナツテ行カナイ、ソレノ根本ハ何處ニ  
アルカ、所謂元受會社ノ營業主任ノ手腕ニ  
ト申シマスカ、技倆ニ依ツテハ、危險率ノ多  
イモノヲ再保險會社ニ渡シテシマフ、確カ

ト思フヤウナモノヲ自分ノ手持ニスル、ソ  
コニ於テ一度火事ガ起ルト、所謂計算ノ基  
礎ヲ離レタ非常ナ火事が突發致シマスト、  
再保險會社ノ拂フ分擔ノ責任ハ非常ニ大キ  
ナモノガ出テ來ル、元受會社其ノモノハ同  
ジ損害デモ割合ガ少イト云フコトヲ聞イテ  
居ルノデアリマスガ、サウ云フコトハ矢張  
リサウ云フ意味ニ於テ、私が申上ゲマシタ  
ヤウナ意味ニ於テ、政府ハ御覽ニナツテ居  
リマスカドウデアリマスカ、更ニ此ノ再保  
險會社ガ外國ノ再保險會社ニ致シマスト、  
非常ニ大キナ火事ガアリマシタ際ニ、日本  
ノ會社其ノモノノ力デハ之ヲ拂フコトガ出  
來マセヌカラ、外國ノ再保險會社ニ出ス、  
處デ外國ノ再保險會社ニ出シマス物件ハ、  
是ハ非常ニ元受會社ノ大事ナヤリ方ダト私  
ハ思フ、言ヒ換レバ危険率ノ少イモノヲヤ  
ルト、モウ一ツ言ヒ換ヘマスレバ外國會社  
ヲシテ平素ハ儲ケサシテ居ル、其ノ代リ何  
カ非常ナ事ガアッタ場合ニハ、外國會社カラ  
固マッタ大キナ金ヲ貰フ、平素ハ儲ケサシテ  
置クト云フヤウナコトハ、自ラ是ハ營業上  
ノ手腕ト申シマセウカ、ソコニ駆引ガアル  
ヤウニ聞イテ居ルノデアリマスガ、如何デ

フヤウナ状態ガアリシト云フコトダケハ、私ハ信ジテ疑ハナイノデゴザイマス、又海ハ無論ゴザイマス、併シナガラ海上ノ物件ハ一度船方沈ミマスレバ、今日少如ク豪華居ルノデアリマス、海上ダケハ日本ノ元受會社ダケデハドウシテモ算盤ガ採レナクナナル大キナ船ハ、非常ナ金額ヲ其處ニ持ッテ來ル、一艘沈メバ會社全體ガ全部沈没シテシマフト云フヤウナ状態ニ、數字ノ上カラ感ジラレルノデゴザイマス、茲ニ於テ外國ノ所謂海上保險ノ聯合ノ者ニ、之ヲ再保險ヲ出シテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、今日ノ日本ノ經濟的ノ力、及び現今ノ時局ニ直面シテ居リマス所ノ爲替管理其ノ他ニ於キマシテ、外國ニ遣リ勘定ニナルト云フヤウナコトヲ、御防ギニナッテ居ルト云フハ、矢張リ目下ノ方針デアラウト思フ、ソレデ火災ニシロ、海上ニシロ、比ノ再保險ト云フコトニ對スル外國トノ遣リ取り勘定ハ、現在ハ此處ニ數字ガゴザイマスヤウデスガ、マタ十分ニ拜見致シテ居リマセヌガ、ドウ云フ風ナ傾向ヲ辿ツテ居リマスルカ、若シ外國ニ出ス所ノ遣リ勘定ト云フモノヲ制限サレテ行クト云フ、日本ノ經濟力ノ現狀ヲ以テ、此ノ總テノ危険ノ起リ得ベキ所ノ、

數學上カラ起ル所ノ基礎ニ當嵌メルコトハ  
出來ルダケノ力ヲ持テ居ルト、政府ハ御用  
ラバ、將來ノ日本ニ起キマス所ノ海上保險  
タルト火災保險タルトヲ問ハズ、一切外國  
ノドノ會社モ之ニ割込ンデ來ルコトヲ、御  
妨ガニナル御積リデアリマスルカ、如何ト  
云フコトモ一ツ伺ヒタインデゴザイマス、  
ソレデ私ハ此ノ法案ハ先頃モ申上ゲマシタ  
如クニ、誠ニ時宜ヲ得タモノデアリマシテ、  
適當ナルモノダト思ヒマスルガ、ソレ等ノ  
點ヲ能ク認識スルニアラズンバ、此ノ法案  
ヲ審議スル上ニ於キマシテ、知識ノ足ラナ  
イモノガアルコトヲ惧レテ、只今三ツノ點  
ヲ列記致シマシテ、御答辯ヲ煩ハシタイト  
存ジマス。

三百五十萬圓デゴザイマス、助成金ヲ受ケ  
タ會社ノ數ハ三十三社デゴザイマス、是等  
ノ受ケタ助成金ヲ各會社ノ業績ニ應ジマシ  
テ、年々舉ゲマスル收益ニ對比致シマシテ、  
サウシテ政府ニ納付、返付スルト云フコト  
ニナツテ居ルノデゴザイマス、現狀ヲ申シマ  
スト納付スベキ總額ハ約一億四千萬圓ニナツ  
テ居リマスルガ、本年ノ三月一日現在ニ於  
キマシテ既ニ納付致シマシタル額ハ、四千  
二百五十萬圓ニナツテ居リマス、從來滯納サ  
レテ居ル金額ハ九十八萬圓餘デゴザイマス、  
滯納致シテ居リマスル會社ノ數ハ五社、從ツ  
テ納付シテ居リマスル二十九社ノ年額ハ三  
百三十七萬圓デゴザイマシテ、納付金ヲ完  
納シテ居リマス會社ハ二二十五社ニ相成ツテ  
居リマス、現狀カラ申シマスルト助成金ノ  
納付ノ成績ハ非常ニ宜シイノデゴザイマス、  
一二業績ガ舉ラナイ會社ニ於キマシテ滯納  
シテ居リマス、本年ニ於キマシテハ僅カニ  
一社、ダケガ滯納致シテ居ルヤウナ狀態ニア  
リマス、御承知ノ通り是ニハ色々ノ議論モ  
ゴザイマシテ、業績ガ舉ラナイヤウナ會社  
ニ取リマシテハ苦痛ガゴザイマシタノデゴ  
ザイマスガ、御承知ノ通り火災保險事業ノ  
最近ノ發達ハ非常ニ著シイモノデゴザイマ

マシテハ、此ノ納付金ノ成績ハ非常ニ宜シイモノニ於キマシテハ、年々納付スルト云フコトヲ止メテ、一度ニ返シタイト云フヤウナ希望ノ申出モゴザイマス、併シナガラ二二成績ノ惡イモノガゴザイマス、大體力ラ申シマスト火災保険事業ハ御承知ノ通り非常ニ最近ニ於ケル成績モ宜シイシ、ソレカラ此ノ助成金ヲ交付致シマシタ時ノ經緯、其ノ他之ヲ目當ニ業績ノ向上ヲシテ参リシタ會社等ノ關係ニ於キマシテ、今後一層業績ヲ擧ゲシムルコトニ努メルト共ニ、此ノ返納ヲサセタイト考ヘテ居リマス、實ハ此ノ業績ノ擧ラナイ會社ニ對シマスル納付金ノ問題ニ付キマシテハ、色々研究ヲ致シマシテ、或ハ非常ニ困難ナモノニ對スル利息ノ減免等ニ付キマシテモ研究致シマシテ、一昨年大藏省ト談合ヲ付ケマシテ、是等ノモノノ減免ヲ詰合ツテ居ツタノデゴザイマス、處ガ偶、此ノ非常時局ニ際會致シマシテ、國家ノ收入ノ減少ヲ來スヤウナモノデアルト云フ意味ニ於キマシテ、大藏省ハ其ノ詰ヲ暫ク待ッテ戴キタイト云フヤウナ詰合ニナッテ居リマス、併シナガラ一方此ノ會社ニ於テ業績ノ擧ラナイト云フ事實

トヲ考へマシテ、此ノ時局ノ經過ト併セ考へ  
マシテ、適當ニ考慮シダイイトハ考へテ居ル  
險會社ハ相當多數アツテ、色々ナ業種ニ亘ツ  
テ保険ヲ營ンデ居ルガ、今後ハ新會社ハ許  
會社ノ新設ニ付キマシテハ、御承知ノ通り  
生命保險ニ於キマシテハ相當多數ノ會社ガ  
サナイカドウカト云フ御尋デゴザイマス、  
云フ點カラ申シマシテモ、相當會社數モゴザ  
ゴザイマシテ、保險利益ヲ普及セシムルト  
アリマス、其ノ上ニ同種類ノ保險ニ付キマ  
シテ許可ヲスルト云フコトハ競爭者ヲ殖ス  
ト云フ意味ニ於キマシテ、相當考慮すべキ  
問題デアルト考へテ居リマス、併シナガラ  
全然新シイ方面ニ於ケル保險ト云フモノニ  
付テハ、將來物ニ依ッテ考慮シテ行キタイト  
考ヘテ居ル次第ゴザイマス、損害保險ニ  
於キマシテハ稍、越キヲ異ニスル點ガゴザイ  
マス、殊ニ國民生活ニ相當ノ影響ヲ齎ラス  
ヤウナ新種ノ保險モ考へラレマスカラ、ソ  
レ等ノ方面ニ付キマシテハ或ひ今後會社ヲ  
許スヤウナコトモ考へラレルダラト思ヒマ  
金ト云フモノガゴザイマシテ、助成金ガ一  
種ノ經營上ノ考慮スベキ點デアル、現在ノ

會社ニ取リマシテハ一種ノ負擔デゴザイマスカラ、此ノ負擔ノナイ會社ヲ新ニ作ルトスカナノヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ協定ニ付キマシテノ御尋デゴザイマスガ、御承知ノ通り火災ニ於キマシテハ色々ナ協定ヲヤッテ居ル譯デゴザイマス、生命保險ニ於キマシテハ從來トモ色々ナ協定ガ行ハレテ來テ居リマシタガ、或ハ其ノ協定ノ守ラレナイモノガゴザイマス、又一面此ノ協定ガアルガ爲ニ業界ノ向上ニ資シテ居ルモノモゴザイマスガ、御話ノ通リニウマク行カナイモノガアルノデゴザイマス、ソレデハ今後此ノ法律改正ニ依ツテ協定ヲシテ行ク、ソレニ或程度ノ法律上ノ效果ヲ附與シテ行クト云フヤリ方ガ、果シテウマク行クカドウデアルカト云フ御尋デアリマス、此ノ點ハ曾我子爵モ御話ノ通リニ罰則等モゴザイマスガ、ソレノミデヤルト云フ譯ニハ行カナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、御承知ノ通り今回提出致シマシタ改正案ガ幸ニシテ御協贊ニ相成リマスレバ、色々監督權ガ強化サレテ居リマス、殊ニ基礎書類、事業方法書等ニ付テモ相當指導的ナ監督ガ出來ルコトニナツテ居リマスカラ、現行法ヲ前提ト致シマシテ考ヘラレテ居ル協定トハ、相

當異ツタ效果ガ出ルヤウニ考ヘテ居ル次第、デゴザイマス、保険會社ノ經營ニ關シマシテ、重大ナ御尋デゴザイマス、生命保險ハ數理ヲ基礎トシテヤツテ行クカラ、相當ノ根據ヲ持チ、數理ニ根據ヲ置クカラ、其ノ經營モ堅實ニヤレバウマク行クモノデアルガ、ト申シマスノハ火災ニ於キマシテハ突發的ニ事件ガ發生スル場合ガアル、サウ云フ場合ニ至リマスト、火災保險會社トシテハ、相當ナル經營上ノ火災率ガ安イコトガ宜イノデアリマスガ、徒ニ安イコトニナリマスレバ結局保險會社ノ基礎ヲ危クスル、基礎ヲ危クシテ安クスルト云フコトハ非常ニ不合理ナ話デゴザイマスカラ、結局ハ合理的ナ料率、合理的ナ値段ト云フモノヲ產ミ出スコトニシナクテハナラナイト云フコトデゴザイマシテ、是ガ最モ大切ナ點デアルト考ヘマシテ、甚ダ遲延ノヤウデゴザイマスルガ、相當經費ト人員等ヲ要スル爲ニ、速カニ實行スルコトガ出来ナカッタノデアリマスガ、今年一月カラ非常ニ大キナ組織ヲ以チマシテ、火災保險ノ保険分類統計ヲナスコトニ致シテ居リマス、是ガ出來上リマスレバ、所謂合理的な保険料率ト云フモノガ定リマシテ、會社モニスル所デゴザイマス、子爵ノ御尋ハ御尤モナノデゴザイマシテ、當局ニ於キマシテハ此ノ火災保險料率ノ合理的ナル基礎ヲ見付キマシテ最も重要ナル點デアル、是ガナク付スコトガ、火災保險事業ノ今後ノ發達ニ付キマシテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、テハ決シテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、ウマク行クモノデナイト云フヤウニ痛感シ

テ居ルノデアリマシテ、高イトカ、安イトカ申シマシテ、一定ノ基準ガナクシテ言フコトデハ、是ハ果シテドウデアルカ、ト申シマスノハ火災保險ヲ契約スルモノカラ取リマスレバ、保モ堅實ニヤレバウマク行クモノデアルガ、ト申シマスノハ火災率ガ安イコトガ宜イノデアリマスガ、徒ニ安イコトニナリマスレバ結局保險會社ノ基礎ヲ危クスル、基礎ヲ危クシテ安クスルト云フコトハ非常ニ不合理ナ話デゴザイマスカラ、結局ハ合理的ナ料率、合理的ナ値段ト云フモノヲ產ミ出スコトニシナクテハナラナイト云フコトデゴザイマシテ、是ガ最モ大切ナ點デアルト考ヘマシテ、甚ダ遲延ノヤウデゴザイマスルガ、相當經費ト人員等ヲ要スル爲ニ、速カニ實行スルコトガ出来ナカッタノデアリマスガ、今年一月カラ非常ニ大キナ組織ヲ以チマシテ、火災保險ノ保険分類統計ヲナスコトニ致シテ居リマス、是ガ出來上リマスレバ、所謂合理的な保険料率ト云フモノガ定リマシテ、會社モニスル所デゴザイマス、子爵ノ御尋ハ御尤モナノデゴザイマシテ、當局ニ於キマシテハ此ノ火災保險料率ノ合理的ナル基礎ヲ見付キマシテ最も重要ナル點デアル、是ガナク付スコトガ、火災保險事業ノ今後ノ發達ニ付キマシテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、テハ決シテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、ウマク行クモノデナイト云フヤウニ痛感シ

モノヲヤルト云フヤウナ傾向ハナイカト云フコトハ、是ハ果シテドウデアルカ、ト申シマスノハ火災率ガ安イコトガ宜イノデアリマスガ、徒ニ安イコトニナリマスレバ結局保險會社ノ基礎ヲ危クスル、基礎ヲ危クシテ安クスルト云フコトハ非常ニ不合理ナ話デゴザイマスカラ、結局ハ合理的ナ料率、合理的ナ値段ト云フモノヲ產ミ出スコトニシナクテハナラナイト云フコトデゴザイマシテ、是ガ最モ大切ナ點デアルト考ヘマシテ、甚ダ遲延ノヤウデゴザイマスルガ、相當經費ト人員等ヲ要スル爲ニ、速カニ實行スルコトガ出来ナカッタノデアリマスガ、今年一月カラ非常ニ大キナ組織ヲ以チマシテ、火災保險ノ保険分類統計ヲナスコトニ致シテ居リマス、是ガ出來上リマスレバ、所謂合理的な保険料率ト云フモノガ定リマシテ、會社モニスル所デゴザイマス、子爵ノ御尋ハ御尤モナノデゴザイマシテ、當局ニ於キマシテハ此ノ火災保險料率ノ合理的ナル基礎ヲ見付キマシテ最も重要ナル點デアル、是ガナク付スコトガ、火災保險事業ノ今後ノ發達ニ付キマシテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、テハ決シテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、ウマク行クモノデナイト云フヤウニ痛感シ

モノヲヤルト云フヤウナ傾向ハナイカト云フコトハ、是ハ果シテドウデアルカ、ト申シマスノハ火災率ガ安イコトガ宜イノデアリマスガ、徒ニ安イコトニナリマスレバ結局保險會社ノ基礎ヲ危クスル、基礎ヲ危クシテ安クスルト云フコトハ非常ニ不合理ナ話デゴザイマスカラ、結局ハ合理的ナ料率、合理的ナ値段ト云フモノヲ產ミ出スコトニシナクテハナラナイト云フコトデゴザイマシテ、是ガ最モ大切ナ點デアルト考ヘマシテ、甚ダ遲延ノヤウデゴザイマスルガ、相當經費ト人員等ヲ要スル爲ニ、速カニ實行スルコトガ出来ナカッタノデアリマスガ、今年一月カラ非常ニ大キナ組織ヲ以チマシテ、火災保險ノ保険分類統計ヲナスコトニ致シテ居リマス、是ガ出來上リマスレバ、所謂合理的な保険料率ト云フモノガ定リマシテ、會社モニスル所デゴザイマス、子爵ノ御尋ハ御尤モナノデゴザイマシテ、當局ニ於キマシテハ此ノ火災保險料率ノ合理的ナル基礎ヲ見付キマシテ最も重要ナル點デアル、是ガナク付スコトガ、火災保險事業ノ今後ノ發達ニ付キマシテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、テハ決シテ火災保險業ノ今後ト云フモノハ、ウマク行クモノデナイト云フヤウニ痛感シ

シテハ、子爵カラモ御話ガゴザイマシタ通  
リニ、一船舶ニ付テ相當金額ノ多イモノ  
ニ付キマシテハ、例外ヲ設ケザルヲ得ナイ  
已ムヲ得ザル事情ガアリマス、併シナガラ  
或金額以下ノモノハ、今モ申上ゲタヤウナ  
方策ヲ執ツテ居ル次第ゴザイマス、火災  
保険ニ付キマシテハ、昨年ノ九月ニ大日本  
火災保険協會加盟會社ガ、外國會社ヘ  
ノ賣リ再保險減少ノ申合セヲシタノデア  
リマス、出來ルダケ國內ニ保有スルコトニ  
努メヨウト云フ申合セガゴザイマシテ、其  
ノ翌月カラ實行シテ居リマス、積荷保険ニ  
付キマシテハ、積荷ノ種類毎ニ「ブール」ヲ作  
リマシテ、再保險ノ國內消化ヲ増スコトニ  
努力シテ居ル次第アリマス、尙積荷ノ戰  
爭保險ニ付キマシテハ、海上保險一木會ニ  
屬シテ居リマスル約二十ノ會社ガ、昨年九月  
貨物戰爭保險「ブール」ヲ作リマシテ、國內内  
保險保有ヲ圖ルコトニシテ居ルヤウナ次第  
デゴザイマス、斯ウ云フ方策ヲ執ツテ居リマ  
スルガ、今後此ノ方策ノ效果ヲ擧ゲルコト  
ニ一層努力ヲシタイト考ヘテ居リマス、唯  
國際關係ニ於キマシテ、矢張リ保險ニ於キ  
マンテモ、ヤリ取リノ關係ニ於テ少シ機微  
ナ點ガゴザイマス、ソレ等ノ點ハ御諒承ノ  
コトト思ヒマスカラ、此處デハ詳シク申上

ゲルコトヲ差控ヘタイト思ヒマス、出來ル  
ダケ國際收支ノ改善ニ努メタイト考ヘテ居  
リマス、一應御答ヘ申上ゲマシタガ、御答  
へ洩レガゴザイマシタラ……  
○子爵會我祐邦君 細カナ御親切ナ御説明  
ヲ戴キマシテ、私共ノ疑ヲ持ツテ居リマシタ  
點ガ誠ニハッキリ致シマシテ、有難ウゴザイ  
マス、唯二二ノ點ヲマダ同ヒタイノデゴザ  
イマスガ、現在ノ火災保険デ申シマスレバ、  
會社ノ數ガ多過ぎハシナイカ、之ヲ言ヒ換  
ヘマスレバ、非常ナ強イ會社ト弱イ會社ガ  
存在シテ居ル其ノ結果ニ於キマスル競争、  
率ヲ下ダルトカ、或ハ戻シヲスルトカ言ツ  
テ、保険協定ノ守レナイ點モ是カラ起ルコ  
トモ一つ原因ダト思フノデスガ、政府ハ  
之ヲ統制シテ、モウ少シ數ヲ少イモノニシ  
テ、サウシテ強目ニナサルコトガ被保險者  
ノ利益デモアレバ、又總テノ方カラ便利デ  
ハナイカト思フノデゴザイマスガ、是ハ如  
何ナモノデゴザイマスカ、之ヲ又一步進メ  
レバ、此ノ火災保險會社及生命保險ノ如キ  
各性質ノ違ツタモノデハアリマスルケレド  
モ、其ノ保險業ト云フモノ全體ヲ政府ガ國  
營トナスト云フヤウナ御考ハナイデアリ  
セウカ、是ハ細カイ點ハ御答辯ニ及ビマセ  
スガ、唯將來ノ御考ヲ承リタイト思フノデ

ゴザイマス、ソレカラ此ノ火災保險ノ發達  
ガ、今日内地バカリデナク朝鮮ニモ及ンデ  
リマス、一應御答ヘ申上ゲマシタガ、御答  
モノハ將來ドウナル御積リデアリマスカ、  
弱クテハ是ハ達セラレナイ、或程度ノ經營  
内地ノ保險會社ガ其處迄手ヲ延バスコトヲ  
御獎勵ニナルノデアリマスカ、ドウ云フヤ  
ウナ思召デアリマスルカ、其ノ點ヲチヨット  
御伺ヒシタイノデゴザイマス  
○政府委員(牧橋雄吉) 火災保險ハ現在內  
地會社ガ四十八社程アリマス、之ニ外國會  
社ガ二十數社アルノデゴザイマス、是等ノ  
保險會社ガ色々經營、規模ハ大小ゴザイマ  
シテ、競爭ヲ激シクヤツテ居ル譯デゴザイマ  
ス、此ノ數ヲ整理シテ、サウシテ火災保險  
ノ全體トシテノ發達ヲ圖ルヤウナ考ハナイ  
カト云フ御尋デアリマス、御尤ナ御尋デゴ  
コトヲ考ヘテ居リマスルガ、是等ノ點ハ矢  
張リ現在ノ經營者ト云フコトヲ頭ニ置イテ  
考ヘマスルト、數ヲ整理スルトカ、色々整  
理合同ヲスルト云フコトハ經營者本位ニ考  
ヘマスルト、直チニサウ云フコトヲ申上ゲ  
ル譯ニハ行カナイカト考ヘラレルノデアリ  
マス、併シガナラ一面國際關係ヲ考慮致  
ニ迄モ參リマシテ、火災保險ノ利益ヲ受ケ  
シメルト云フヤウナコトニナツテ居ルコト  
ハ、一面私共ハ喜ブ點ダラウト考ヘルノデア  
リマス、唯子爵ノ仰セラレタ通リニ、此ノ  
火災ニシロ、海上ニシロ、國際的ノ關係ヲ

考慮致シマスルト、日本ノ保險業其ノモノ  
ヲ強クシナクテハナラヌト云フヤウナ必要  
ガアリマス、ソレニハ矢張リ個々ノ單位ガ  
居ルカモ知レナイガ、尙滿洲ト支那ト云フ  
モノハ將來ドウナル御積リデアリマスカ、  
弱クテハ是ハ達セラレナイ、或程度ノ經營  
單位ニ達スルモノガ集シテ居ラナクテハ、外  
國トノ競爭ニ於テ引ケヲ取ルト云フヤウナ  
事情ガアリマス、斯ウ云フ意味ニ於キマシ  
テ、出來ルダケ現在ノ會社ノ經營基礎ノ強  
化ヲ圖リタイト云フ希望ヲ持ツテ居ル譯デ  
アリマス、是等ノ數ヲドウスルカト云フヤ  
ウナコトヲ直接考ヘルヨリモ、經營單位ノ  
向上ヲ圖リタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次  
第デアリマス、生命保險ニ於テモサウ云フ  
カト云フ御尋デアリマス、御尤ナ御尋デゴ  
コトヲ考ヘテ居リマスルガ、是等ノ點ハ矢  
張リ現在ノ經營者ト云フコトヲ頭ニ置イテ  
考ヘマスルト、數ヲ整理スルトカ、色々整  
理合同ヲスルト云フコトハ經營者本位ニ考  
ヘマスルト、直チニサウ云フコトヲ申上ゲ  
ル譯ニハ行カナイカト考ヘラレルノデアリ  
マス、併シガナラ一面國際關係ヲ考慮致  
シテ、今回ノ法律ガ御認ヲ戴キマスレ  
バ、是等ノ點ニ努メタイト考ヘテ居ル次第  
デゴザイマス、次ニ國營ニ對スル御尋デ  
ゴザイマス、最近、殊ニ生命保險ニ付キマ

シテ國營ノ議論ガ相當ゴザイマス、學者ハ色々ノ説ヲ舉ゲテ國營ノ良イコトヲ説イテ居ル者モアリ、又之ニ對スル反對論モゴザイマスコトハ御承知ノ通リデゴザイマス、色々衆議院デ御尋ニ預リマシタ際ニモ、國營ノ話ガ相當出マシタ譯デアリマス、私共ハ此ノ國營ニ對シテ考ヘテ居ル所フ全部申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、如何ナル理由デ國營ガ良イト云フノカ、其ノ點ヲ十分御聽キシタイト思ツテ居ツタノデゴザイマスガ、主トシテ衆議院ニ於キマスル國營論ノ根據ハ、現在ノ民營保険ノ弊害ガ多イト云フ點ニアルヤウデゴザイマス、ソレモ具體的ニ御話ハナカツタノデアリマスルガ、主トシテ外務員等ノ第一線ノ者ガ、所謂契約者ニ及ス弊害、是等ノ弊害ニ對シテ重要ナ考慮ヲシナケレバナラヌ點ハ當局モ十分考ヘテ居リマスガ、相當ノ弊害ガアル、ソレ等ノ弊害ハ經營形態ヲ變ヘルニ非ラザレバ除去スルコトハ出來ナイト云フヤウナ意味ノ、國營ニ對スル當局ノ考ヲ搔摘シテ申上ゲルスルト、觀念論的ナ國營論ハ是ハ申上ゲル迄モアリマセヌガ、一方賛成論ガアルト同様ニ強イ反對論ガゴザイマシテ、是ハ議論

ガ盡キナイ所デゴザイマス、今申上ゲマスヤウニ、現在ノ民營保険ノ弊害ヲ除去スル方法トシテ、經營形態ヲ變ヘナケレバナラヌト云フヤウナ議論ニ對シマシテハ、今回ノ話ガ相當出マシタ譯デアリマス、私共ハ此ノ法律改正ニ依リマシテ出來得ル限りバ、ソレ等ノ弊害ハ除去シ得ルモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、最モ其ノ弊害ノ著シイモノトシテ舉ゲラレル事業費ノ濫費ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、實ハ當局ニ於キマシテ是ハドウシテモ改メナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ツタノデアリマスガ、ドウシテモ法律上ノ手段ヲ缺クガ爲ニ行キ届カナイノデアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ法律改正ニ依リマシテ、ソレ等ノ點方除去シ得ルコトヲ確信シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他多クノ民營保険ニ對スル非難、弊害ト云フヤウナモノハ一々仔細ニ私共ノ方デ研究ヲ致シマスルト、皆除去シ得ルモノノヤウニ考ヘラレル次第デゴザイマス、從テ多年ノ貢獻ヲナシテ參リマシタル所ノ、我ガ國ノ生命保険事業ト云フモノノ一大變革タル、國營ニスルト云フ考ハ目下ノ所デハ持シテ御答ト致シマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、ソレカラ滿洲、支那ニ對スル保險ノ點

ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ持シテ居ルカト云フハ、生命保険ニ付キマンテハ既ニ滿洲國トスト云フヤウナ議論ニ對シマシテハ、今回ノ法律改正ニ依リマシテ出来得ル限りバ、ソレ等ノ弊害ハ除去シ得ルモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、最モ其ノ弊害ノ著シイモノトシテ舉ゲラレル事業費ノ濫費ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、實ハ當局ニ於キマシテ是ハドウシテモ改メナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ツタノデアリマスガ、ドウシテモ法律上ノ手段ヲ缺クガ爲ニ行キ届カナイノデアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ法律改正ニ依リマシテ、ソレ等ノ點方除去シ得ルコトヲ確信シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他多クノ民營保険ニ對スル非難、弊害ト云フヤウナモノハ一々仔細ニ私共ノ方デ研究ヲ致シマスルト、皆除去シ得ルモノノヤウニ考ヘラレル次第デゴザイマス、從テ多年ノ貢獻ヲナシテ參リマシタル所ノ、我ガ國ノ生命保険事業ト云フモノノ一大變革タル、國營ニスルト云フ考ハ目下ノ所デハ持シテ御答ト致シマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、ソレカラ滿洲、支那ニ對スル保險ノ點

ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ持シテ居ルカト云フハ、生命保険ニ付キマンテハ既ニ滿洲國トスト云フヤウナ議論ニ對シマシテ、日本内地ノ生命保険會社ガ協定ガ出來マシテ、此ノ滿洲生命保険會社トト云フコトヲ考ヘテ居リマス、最モ其ノ弊害ノ著シイモノトシテ舉ゲラレル事業費ノ濫費ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、實ハ當局ニ於キマシテ是ハドウシテモ改メナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ツタノデアリマスガ、ドウシテモ法律上ノ手段ヲ缺クガ爲ニ行キ届カナイノデアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ法律改正ニ依リマシテ、ソレ等ノ點方除去シ得ルコトヲ確信シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他多クノ民營保険ニ對スル非難、弊害ト云フヤウナモノハ一々仔細ニ私共ノ方デ研究ヲ致シマスルト、皆除去シ得ルモノノヤウニ考ヘラレル次第デゴザイマス、從テ多年ノ貢獻ヲナシテ參リマシタル所ノ、我ガ國ノ生命保険事業ト云フモノノ一大變革タル、國營ニスルト云フ考ハ目下ノ所デハ持シテ御答ト致シマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、ソレカラ滿洲、支那ニ對スル保險ノ點ニ逐次考ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、滿洲國ノ方トノ從來ノ交渉及取極ガゴザイマスノデ、其ノ取極ノ範圍内ニ於テ發展ヲ圖ルノ外ハナイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ持シテ居ルカト云フハ、生命保険ニ付キマンテハ既ニ滿洲國トスト云フヤウナ議論ニ對シマシテハ、今回ノ法律改正ニ依リマシテ出来得ル限りバ、ソレ等ノ弊害ハ除去シ得ルモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、最モ其ノ弊害ノ著シイモノトシテ舉ゲラレル事業費ノ濫費ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、實ハ當局ニ於キマシテ是ハドウシテモ改メナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ツタノデアリマスガ、ドウシテモ法律上ノ手段ヲ缺クガ爲ニ行キ届カナイノデアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ法律改正ニ依リマシテ、ソレ等ノ點方除去シ得ルコトヲ確信シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他多クノ民營保険ニ對スル非難、弊害ト云フヤウナモノハ一々仔細ニ私共ノ方デ研究ヲ致シマスルト、皆除去シ得ルモノノヤウニ考ヘラレル次第デゴザイマス、從テ多年ノ貢獻ヲナシテ參リマシタル所ノ、我ガ國ノ生命保険事業ト云フモノノ一大變革タル、國營ニスルト云フ考ハ目下ノ所デハ持シテ御答ト致シマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、ソレカラ滿洲、支那ニ對スル保險ノ點

ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ持シテ居ルカト云フハ、生命保険ニ付キマンテハ既ニ滿洲國トスト云フヤウナ議論ニ對シマシテ、日本内地ノ生命保険會社ガ協定ガ出來マシテ、此ノ滿洲生命保険會社トト云フコトヲ考ヘテ居リマス、最モ其ノ弊害ノ著シイモノトシテ舉ゲラレル事業費ノ濫費ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、實ハ當局ニ於キマシテ是ハドウシテモ改メナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ツタノデアリマスガ、ドウシテモ法律上ノ手段ヲ缺クガ爲ニ行キ届カナイノデアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ法律改正ニ依リマシテ、ソレ等ノ點方除去シ得ルコトヲ確信シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他多クノ民營保険ニ對スル非難、弊害ト云フヤウナモノハ一々仔細ニ私共ノ方デ研究ヲ致シマスルト、皆除去シ得ルモノノヤウニ考ヘラレル次第デゴザイマス、從テ多年ノ貢獻ヲナシテ參リマシタル所ノ、我ガ國ノ生命保険事業ト云フモノノ一大變革タル、國營ニスルト云フ考ハ目下ノ所デハ持シテ御答ト致シマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、ソレカラ滿洲、支那ニ對スル保險ノ點

ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ持シテ居ルカト云フハ、生命保険ニ付キマンテハ既ニ滿洲國トスト云フヤウナ議論ニ對シマシテ、日本内地ノ生命保険會社ガ協定ガ出來マシテ、此ノ滿洲生命保険會社トト云フコトヲ考ヘテ居リマス、最モ其ノ弊害ノ著シイモノトシテ舉ゲラレル事業費ノ濫費ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、實ハ當局ニ於キマシテ是ハドウシテモ改メナケレバナラナイト云フコトヲ痛感シテ居ツタノデアリマスガ、ドウシテモ法律上ノ手段ヲ缺クガ爲ニ行キ届カナイノデアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ法律改正ニ依リマシテ、ソレ等ノ點方除去シ得ルコトヲ確信シテ居ル次第デゴザイマス、其ノ他多クノ民營保険ニ對スル非難、弊害ト云フヤウナモノハ一々仔細ニ私共ノ方デ研究ヲ致シマスルト、皆除去シ得ルモノノヤウニ考ヘラレル次第デゴザイマス、從テ多年ノ貢獻ヲナシテ參リマシタル所ノ、我ガ國ノ生命保険事業ト云フモノノ一大變革タル、國營ニスルト云フ考ハ目下ノ所デハ持シテ御答ト致シマス、サウ云フコトヲ申上ゲテ御答ト致シマス、ソレカラ滿洲、支那ニ對スル保險ノ點

ニ對シテ、ドウ云フ考ヲ持シテ居ルカト云フハ、生命保険ニ付キマンテハ既ニ滿洲國トス

○子爵會我祐邦君

モウ一ツ質問致シタイス

ト思ヒマス、只今ノ御説明デ満洲ノ状態ハスル譯デハアリマセヌガ、満洲ニハ外國ノ

分リマシタガ、満洲國ノコトヲ我々ガ云々

保険會社ノ進出ト云フコトハナインデアリ

マセウカ、今ノヤウナ日本ノ保険會社ガ遠

スル譯デハアリマセヌガ、満洲ニハ外國ノ

ナ考へ方ヲシテ居ツタト考へラレルノニアリ  
マス、私共今日カラ見マスルト云フト、保  
險業ノ經濟上ト云フヨリモ、寧ロ社會上非  
常ナ重大性ヲ持ッテ居ル、資本金ノ關係、株  
式會社デ株式ナドト云フ事柄ニ付テハ、勿  
論財產的經濟ノ關係ニ過ギナイノニアリマ  
スガ、被保險者ノ保險金ヲ支拂フト云フ關係  
ニ立ツテ、保險料ヲ受領スル、而シテ火災保  
險ナドハ短イ期間デアリマスケレドモ、生  
命保險トナルト何十年ト云フ長イ歲月ヲ持  
ツノアリマス、從ツテ保險料ノ蓄積サレル  
額モ非常ニ多イコトニナル、サウ云フ關係  
デアリマスルガ、今迄ハ保險會社ニ對スル  
監督ガ行キ届カナカッタト私ハ申シテ差支  
此ノ度ノ改正ニ付テハ色々ソレ等ニ關スル  
監督規定以下制定セラレテ居ルノニアリマ  
スルガ、此ノ法案ガ法律トナッテ實施サレル  
時ニハ、ソレ等ノ關係モ確カニ相當改善サ  
レルコトトハ思フノニアリマス、私ハ併シ  
其ノ點ニ付テ更ニ一步ヲ進メテ考ヘテ見タ  
イコトハ、サウ云フ風ニ何十年モ被保險者  
ガ掛ケテ居リマシテ、保險金ノ受領ト云フ  
コトニ付テハ、確實性ヲ期待シテ居ルコト  
ト思フノニアル、然ルニ今日迄ノ狀態ニ依  
レバ拘束命令ヲ受テ居ル會社モアレバ、或

ハ事業ヲ全然停止シテ居ル會社モアル、其  
ノ被保險者ノ掛ケタ保險料ハ全ク無意味ニ  
終ツテ居ル、斯ウ云フコトハ國家トシテハ、  
私ハアッテハナラヌコトダト深ク考ヘル、ソ  
コデ監督命令若シクハ保險計理人ト云フモ  
ノガ、平時任命シテアル譯デスガ、其ノ程  
度ハマダ足ラヌノヂヤナイカ、私ハ特殊會  
社ニ監理官ト云フモノガ派遣サレテ居ルト  
云フコトハ、此處ニ申ス迄モナイコトデア  
リマスガ、斯ウ云フ公益ノ重イモノニ付テ  
ハ、政府ハ監理官ヲ其ノ中ヘ派遣シテ、勿  
論細カイコト迄直接監理スル必要ハアリマ  
セヌケレドモ、大體ニ於ケル動キト云フモ  
ノハ、絶エズサウ云フ人ガ中ニ居ツテ、之ヲ  
監察シテ居ル、サウシタラバ今日ノ如キ破  
綻スル所ノ保險會社ハ出來ナイグラウト、  
改正ガ動機トナル迄サウシテ置カレタコト  
ヲ、今伺ツテモドウカモ知レマセヌガ、將來  
ノアルコトガ明カデアルニ拘ラズ、商法ノ  
改正ガ動機トナル迄サウシテ置カレタコト  
ノ法律ヲ考ヘマスルト非常ニ不備デゴザイ  
定ノミデソレ等ノ重責ニ任ズルコトガ出來  
ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、大體現在  
ノ法律ヲ考ヘマスルト非常ニ不備デゴザイ  
マシテ、例ヘバ監督上ノ處置ニ付キマシテ  
ゲルコトガ出來ヨウカト考ヘルノデゴザイ  
マス、尙具體的ナ監督ノ方法ト致シマシテ、  
監理官ノ制度ヲ置クコトガ必要デハナイカ  
書類ニ從ヘト云フ命令ハ出來ルノデゴザイ  
マスガ、御承知ノ通リニ基礎書類ト申シマ  
スノハ、其ノ會社ノ經營ノ基準ヲ書イテ居

ノデアリマス、今後モ非常ニ發展シテ行ク  
ノデゴザイマセウガ、今仰セノ通リニ毎年  
蓄積シテ行ク資金モ莫大デアリマスシ、又  
今後發展シテ行クニ連レマシテ、被保險者  
資方面ノ關係ニ於キマシテ、產業界ニ影響  
モ與ヘル譯デゴザイマス、非常ニ今後ノ生  
命保險事業ノ監督ト云フモノハ重大サヲ加  
ヘタト考ヘル次第デゴザイマス、之ニ對シ  
マシテ今御指摘ノ通リニ、監督官ガ不行届  
デナカツタラウカト云フ御話デゴザイマス  
ガ、私共モ其ノ點ヲ遺憾ニ考ヘテ居ツタ次  
第デゴザイマス、今回此ノ法律ヲ改正致シ  
マシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ、十分當  
局モ熱意ヲ以テヤラナクテハナラヌト云フ  
コトヲ考ヘル次第デゴザイマスガ、此ノ規  
定ノミデソレ等ノ重責ニ任ズルコトガ出來  
居リマシタ點カラ見マシテ、是等ノ點ノ改  
正ヲ御認メ願ヘレバ、相當監督ノ實績ヲ舉  
ゲルコトガ出來ヨウカト考ヘルノデゴザイ  
マス、尙具體的ナ監督ノ方法ト致シマシテ、  
監理官ノ制度ヲ置クコトガ必要デハナイカ  
書類ニ從ヘト云フ御話デゴザイマシテ、是ハ私共モ同  
感ニ考ヘテ居リマス、併シナガラモウ少シ  
研究ヲシタ伊點モゴザイマシテ、今直チニ

○政府委員(牧檍雄君)

御答へ申上ゲマス、

生命保險事業ガ年々發達致シテ參リマシテ、  
スノハ、其ノ會社ノ經營ノ基準ヲ書イテ居

各會社ニ監理官ヲ派遣スルト云フヤウナコトハ、今ノ所デハ實行ニ困難デハナカラウカト考ヘテ居リマスルガ、御趣旨ハ能ク分ッテ居ル譯デゴザイマスカラ、研究シテ見タトイ思シテ居リマス、唯之ニ代ヘル譯デハゴザイマセヌガ、保険計理人ト云フモノノ制度ヲ今回採リマシタ、保険計理人ノ持ツベキ重責ヲ法律ニ規定致シマシテ、或程度此ノ保険計理人ガ職務ヲ執行スルノニ、力ヲ持チ得ルヤウニナルト共ニ、之ニ依リマシテ實質的ナ改善ヲ計ルト云フコトニ努ムルナラバ、一方監督規定ノ強化ト、ソレカラ會社内部ニ於ケル最モ根本的ナ、整理ヲ扱フ人ニ對シテノ職責ヲ規定致シマシテ、是等ノ數理ノ正確ヲ期スルト云フコトニスレバ、兩兩相俟シテ、御話ノヤウナ點ガ實現サレ得ルノデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○山岡萬之助君 會社ノ數ハ御手許ニ差上ゲテゴザイマスガ、業績不良ノ會社、或ハ拘束命令ヲ受ケテ居ル會社……○山岡萬之助君 チヨット速記ヲ止メテ……○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ止メテ……  
 ○政府委員(牧檍雄君) 會社ノ數ハ御手許ニ差上ゲテゴザイマスガ、業績不良ノ會社、或ハ拘束命令ヲ受ケテ居ル會社……  
 ○山岡萬之助君 チヨット速記ヲ止メテ……○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ止メテ……  
 (速記中止)

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 速記ヲ始メテ……  
 ○山岡萬之助君 本案ニ依リマスルト、株式會社、相互會社ノ資本ノ總額八十萬圓以上ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ實際ニ於テ餘リニ低過ギルモノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、固ヨリ右ニ述べマシタルヤウニ、資本關係ニ重點ヲ置クベキモノデナク、保險金關係ニ重點ヲ置クベキモノデアルト思フノデアリマス、ソレニ付テハ御答辯ヲ煩ハス必要ハ無イノデアリマスガ、私ハ是非サウ云フモノハ整理サレナケレバナラスト思ヒマスガ、ソコデ新シキ會社トシテ相當ナル條件ガ備ハツテ新設サレタモノデ急ニ發達シタ會社ハ實例ニアルノデアリマスガ、サウ云フコトモ尙一齊ニ許サナイト云フ行キ方ハ、ドウモ誠ニ實際ノ事情ニ合ハナイヤウニ考ヘマスルガ、先刻ノ御命令ノ出タモノトカ、業務停止トカ、其ノ數ヲ一應承リタイ

ノデアリマス、其ノ點ハ御者慮ヲ願ツテ置キマス、更ニ御伺ヲ致シタイ點ハ、今日ノ會社數ハ此ノ參考書ニモ御示ニナッテ居リマスガ、其ノ中不振會社ガドノ位アツテ、拘束命令ノ出タモノトカ、業務停止トカ、其ノ數ヲ一應承リタイ  
 ○仁井田益太郎君 御答辯前ニ、關聯シテ居リマスカラ私モ附加ヘテ述ベタイノデス、今カラサウ云フ會社ハ宜シク此ノ度、合併トカ或ハ契約移轉トカ簡易ニセラレテ居ルノデアリマスルカラ、是ハ宜シク管理ヲ他ノ會社ニ託サレテ整理ヲナスベキモノデアルト思フノデアリマス、ソレニ付テハノ總額十萬圓以上ト云フコトニナッテ居ルノ一拂込デ差支ナイノデスカラ、二萬五千圓デアツテモヤレル、斯ウ云フコトガ此ノ第三條カラ出テ來ル、尤モ斯カル會社ニ對シテハ主務大臣ハ無論免許ヲ與ヘナイデアリマスガ、サウ云フコトモ尙一齊ニ許サナマセウカラ、實際問題トシテハ餘リ顧慮スル必要ハ無イト思ヒマスケレドモ、此ノ法

ニシテ、業務ノ成績ヲ擧ガヨウト云フコトヲ標榜シテ出來テ居ルノニ、三條ヲ見ルト、現行法ト同様詰リ十萬圓ダケノ資本又ハ基金ガアレバ、保險會社ト云フモノハ造ルコトガ出來ルノダ、保險事業ヲ營ムコトガ出來ルノダ、實際ノ拂込金額カラ云フト、二萬五千圓デモ出來ルノダト云フコトヲ云フコトガ、ドウモ如何ニモ保險事業ヲ重ク見テ居リナガラ茲デ輕視シテ居ルヤウニ見エルノハ、如何デアリマセウカ、現行法ヲ改正スル際デアリマスカラ斷然、此ノ金額ヲ引上ゲテ然ルベキデアラウト思フノデアリマス、又實際問題トシテモ、斯ンナ金デ保險會社ヲ造ツテ保險事業ヲ經營シヨウト云フ者ハ絶無ト思フノデアリマスケレドモ、サウ云フ狀況ノ下ニ、此ノ三條ハ時代後レヂヤナイカ、商工省デハ非常ニヤカマジク言ツテ居リナガラ、何ダ第三條ヲ見ルト二萬五千圓拂込デモ差支ナイ、ソレデ保險會社ノ設立ヲ認メ、保險事業ノ經營ヲ認メルト云フコトハ鼎ノ輕重ヲ問ハレル虞ハナイカ、何ガ故ニ此ノ金額デ満足セラレタノカ、何カ特別ニ理由ガアッテ、現行法ノ通りニシテ置カレタノデハナイカト私ハ考ヘル、實ハ保險事業ニ付テ甚ダ經驗モ無イノデスケレドモ、何カソコニ必要ガアッテ現行

法ノ通リニシテ置カレタ何カ理由ガアルノモノデアッテ、小サイ範圍デ經營スルト云ッタヤウナ必要ノアル場合ハアルカモ知ラヌト實ハ思ツテ居ルケレドモ、ソレ以外ニハドウモ餘リナササウデアルノデスガ、何カソコニ必要ガアルノカ、是迄ニ下ゲル必要ガアルカ、詰リ現行法ヲ改正セズニ置クト云フ何カ特別ノ事情ガアルカ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧檍雄君) 保險會社ノ資本ニ付キマシテハ、先程モチヨット御尋ガゴザイマシタ通リニ、相當保險團體ガ大キクナリマスルト、相互會社ノ資金等モ殆ド無クナツテ居ルヤウナモノゴザイマスルシ、普通ノ生產會社程ノ資本ヲ要シナイト云フ考へ方ヲ致シテ居リマス、今回ノ改正デ十萬圓以上ト云フコトニシタノハ、現在此ノ程度ノモノガゴザイマス關係カラ致シマシテ、現行法其ノ儘ヲ取ツタ主タル理由ハソチラノ方ニゴザイマス、實例ヲ申上ゲマスト、三十萬圓ノ資本デ七萬五千圓ノ拂込ノ會社デ、契約高七億位ヲ持テ居ルノモゴザリニシテ置カレタノデハナイカト私ハ考ヘレカラ新會社ニ付テノ御尋デ、業績ノ舉レスケレドモ、何カソコニ必要ガアッテ現行

法ノ通リニシテ置カレタ何カ理由ガアルノモノデアッテ、小サイ範圍デ經營スルト云ッタヤウナ必要ノアル場合ハアルカモ知ラヌト實ハ思ツテ居ルケレドモ、ソレ以外ニハドウモ餘リナササウデアルノデスガ、何カソコニ必要ガアルノカ、是迄ニ下ゲル必要ガアルカ、詰リ現行法ヲ改正セズニ置クト云フ何カ特別ノ事情ガアルカ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧檍雄君) 保險會社ノ資本ニ付キマシテハ、先程モチヨット御尋ガゴザイマシタ通リニ、相當保險團體ガ大キクナリマスルト、相互會社ノ資金等モ殆ド無クナツテ居ルヤウナモノゴザイマスルシ、普通ノ生產會社程ノ資本ヲ要シナイト云フ考へ方ヲ致シテ居リマス、今回ノ改正デ十萬圓以上ト云フコトニシタノハ、現在此ノ程度ノモノガゴザイマス關係カラ致シマシテ、現行法其ノ儘ヲ取ツタ主タル理由ハソチラノ方ニゴザイマス、實例ヲ申上ゲマスト、三十萬圓ノ資本デ七萬五千圓ノ拂込ノ會社デ、契約高七億位ヲ持テ居ルノモゴザリニシテ置カレタノデハナイカト私ハ考ヘレカラ新會社ニ付テノ御尋デ、業績ノ舉レスケレドモ、何カソコニ必要ガアッテ現行

法ノ通リニシテ置カレタ何カ理由ガアルノモノデアッテ、小サイ範圍デ經營スルト云ッタヤウナ必要ノアル場合ハアルカモ知ラヌト實ハ思ツテ居ルケレドモ、ソレ以外ニハドウモ餘リナササウデアルノデスガ、何カソコニ必要ガアルノカ、是迄ニ下ゲル必要ガアルカ、詰リ現行法ヲ改正セズニ置クト云フ何カ特別ノ事情ガアルカ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧檍雄君) 保險會社ノ資本ニ付キマシテハ、先程モチヨット御尋ガゴザイマシタ通リニ、相當保險團體ガ大キクナリマスルト、相互會社ノ資金等モ殆ド無クナツテ居ルヤウナモノゴザイマスルシ、普通ノ生產會社程ノ資本ヲ要シナイト云フ考へ方ヲ致シテ居リマス、今回ノ改正デ十萬圓以上ト云フコトニシタノハ、現在此ノ程度ノモノガゴザイマス關係カラ致シマシテ、現行法其ノ儘ヲ取ツタ主タル理由ハソチラノ方ニゴザイマス、實例ヲ申上ゲマスト、三十萬圓ノ資本デ七萬五千圓ノ拂込ノ會社デ、契約高七億位ヲ持テ居ルノモゴザリニシテ置カレタノデハナイカト私ハ考ヘレカラ新會社ニ付テノ御尋デ、業績ノ舉レスケレドモ、何カソコニ必要ガアッテ現行

法ノ通リニシテ置カレタ何カ理由ガアルノモノデアッテ、小サイ範圍デ經營スルト云ッタヤウナ必要ノアル場合ハアルカモ知ラヌト實ハ思ツテ居ルケレドモ、ソレ以外ニハドウモ餘リナササウデアルノデスガ、何カソコニ必要ガアルノカ、是迄ニ下ゲル必要ガアルカ、詰リ現行法ヲ改正セズニ置クト云フ何カ特別ノ事情ガアルカ、ソレヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧檍雄君) 保險會社ノ資本ニ付キマシテハ、先程モチヨット御尋ガゴザイマシタ通リニ、相當保險團體ガ大キクナリマスルト、相互會社ノ資金等モ殆ド無クナツテ居ルヤウナモノゴザイマスルシ、普通ノ生產會社程ノ資本ヲ要シナイト云フ考へ方ヲ致シテ居リマス、今回ノ改正デ十萬圓以上ト云フコトニシタノハ、現在此ノ程度ノモノガゴザイマス關係カラ致シマシテ、現行法其ノ儘ヲ取ツタ主タル理由ハソチラノ方ニゴザイマス、實例ヲ申上ゲマスト、三十萬圓ノ資本デ七萬五千圓ノ拂込ノ會社デ、契約高七億位ヲ持テ居ルノモゴザリニシテ置カレタノデハナイカト私ハ考ヘレカラ新會社ニ付テノ御尋デ、業績ノ舉レスケレドモ、何カソコニ必要ガアッテ現行



ガ、此ノ會社ノ業務ガウマク行カナクナルト云フ最大ノ原因ハ、保険業ニ於キマシテハ、主トシテ信用ガ影響シテ居ル點ガ多イド考ヘルノデアリマス、此ノ規定ニ於キマシテ、或ハ強制的ニ管理セシムルト云フヤウナ場合ハ、主トシテ經營業績ノ良イモノ、又經營ノ擔當者ガ非凡ノ腕前ヲ持ッテ居ル者等ヲ選ビマシテ、其ノ信用ト手腕ヲ併セ借受ケマシテ、其ノ業績不良ニ陥ッタ會社ヲ、ソレ等ノ擔當者ニ代ッテ經營セシムルト云フ趣旨デゴザイマスカラ、保険業ノ業態ニハ適シタ制度デハナイカト考ヘテ居ル譯デアリマス

○山岡萬之助君 本案ニ依リマスト、統制協定ヲナサシメ、且監督ヲナスト云フ風ニ、政府カラ保険會社ニ對シテ相當ニ力ヲ以テ監督スルト云フ點ニ付テハ規定セラレテ居リマスガ、保護、助長ト云フ方面ニハ餘リ規定ガ見エテ居リマセヌ、サウ云フ點ニ付テ同ツテ置キタイノハ、可ナリ實際ニ於テ競争ガ激シク行ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトガ、ドウモ今日迄ノ自然ニ發達シテ來タ成績ノ舉ラナイ會社ニ取ッテハ非常ニ困ルコトデ、又其ノ會社ニ限ッテ遠キ將來ニ被保險者ノ

利益ト云フモノヲ危殆ニ陷レル、斯ウ云フコトヲ以テ今ノ不當競争ハ防止サレルコトデモアラウト思ヒマスガ、今日迄モ政府ハソレ等ノ點ニ付テハ相當監督サレ、各會社ノ協定ニ依ッテ業務ヲ遂行シテ居ルコトト思フ、ソレニモ拘ラズ、サウ云フ風ナ次第デ、小會社ハ非常ニ業務ガ振ハナイ、之ヲ此ノ度ハ此ノ程度デ十分ニ行ケル御考デアリマスカ、ソレカラモウ一つハ、簡易保險トノ關係デアリマス、簡易保險ガ出來マシテ、ハ大シタ影響ハ無カッタ、然ルニ段々額ガ上ッテ來テ、是ガ所謂保険會社トノ關係ニ於テハムヅカシイ問題ニナッテ來タノデアリマス、私共ノ今日考ヘテ居ルノハ、千圓ト云フ額迄ラ民間保険會社ガ持ッテ居ルコトガ出来レバ大體宜イノデヤナイカ、今日ノ經濟界ノ關係ニ於テハ左様ニ思ハレルノデアリマス、若シ簡易保險ノ方ガ段々上ッテ來テ、サウ云フヤウナ所ヲ越シテ進ムヤウニナリマスレバ、殊ニ小會社ナドノ營業ハ必ズ不振ニ陥ルト思フノデアリマス、私ハ何モ今日迄ノ自然ニ發達シテ來タ成績ノ

險料ヲ拂ッテ、サウシテ終ヒニナッテ會社ガコトデアリマスノデ、之ニ對シテ統制ト云フ破產狀態ニナルト云フコトニナルノヲ、私會社ガ小サイ會社ヲ壓迫致シマシテ……壓ハ大イニ懸念致シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニサウ云フ點ニ於テ伺フノデアリマス、是ハ簡易保險ハ所管ヲ異ニシテ居リマスガ、勿論商工省保険當局トシテモ相談ニ應ジラレルト思ヒマス、今日迄モサウ云フスカ、ソレカラモウ一つハ、簡易保險トノ付テ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(牧檍雄吉) 御答ヘ申上ゲマス、

殊ニ生命保險業ニ於キマシテハ、仰セノ通

リニ競争ガ非常ニ激甚デゴザイマス、從ツテ第一線ノ外務員ガ勸誘ヲ致シマスルニ當リ

奪募集ト言シテ居リマスガ、他ノ會社ノ既ニ

出來上ッテ居ル契約ヲ取ッテ參リマシテ、自

分ノ會社ニ乘換ヘサセル、サウ云フ所ニ勸

誘サレタ人ハ、一度契約シタモノヲ解約ス

ルコトニ依ッテノ不利益ヲ受ケルノミナラズ

ズ、新シク契約スル場合ニ於キマシテハ、

テ又二重ニ不利益ヲ受ケルト云フヤウナ譯

デアリマシテ、此ノ第一線ノ競争カラ

ナ監督ヲスルコトガ出來ヨウカト確信シテ

一社ノ經營ニ任ズル者ヨリモ適當ナ指導的

居ル次第アリマス、一方相互關係カラ來

ル業績不振ニ對シテハ、今御話ノ通リニ協定等ニ依リマシテ、不當ナル競争ヲ除去スルル……不當ナル競争ヲ除去スルト云フコトハ、結局現在ノヤリ方ニ於ケル契約者ニ及シテ居ル弊害ヲ除去スル上ニ於テ最モ必要デアルカラト云フ意味ニ於キマシテ、之ニ力ヲ注グコトガ、今後ノ監督行政上最モ必要デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス關係ニ於キマシテ、相當ノ力ヲ以テ之ニ處シテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙是デハ此ノ規定ヲ動カスノミデハ不十分デハナイカト云フ仰セデゴザイマシタ、是ハ御尤デゴザイマスガ、先程モ申上ゲタカト思ヒマスルガ、此ノ法律ガ幸ニ御認メラ願ヘレバ、各種ノ力ヲ政府ニ興ヘテ戴クコトニナリマスルカラ、ソレ等ノ力ヲ以テ出來ルダケ監督ノ任ニ當リタイト考ヘテ居ルモノデアリマス、旨等ハ御了承ノ通リデゴザイマシテ、是等ノ制度方業程度擴充セラレルコトノ社會ニ及ス好影響ト云フモノハ是ハ如何ニシテモ認メナクテハナラスト考ヘテ居リマス、昨年ノ簡易保險ノ保險金額ヲ引上げマシタ時ノ交渉ニ於キマシテハ、議會ニ御認ヲ願シタ

ガ、先程民營保險トノ關係等ヲ考慮致シマ  
シテ、昨年ハ七百圓ニ止メテ貰ッタ譯デゴザ  
ノ效用ト申シマスカ、簡易保險制度其ノモ  
ノノ效用ト云フモノハ、實ニ立派ナモノデ  
アリマシテ、今後或程度擴充スルコトニ依ツ  
テ最モ適當ナ社會施設トシテ行キタイト商  
工省ト雖モ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、  
社會制度ヲ擴充スルコトニ依リマシテ、一  
面其ノ擴充ニ依リ受ケル影響、惡影響ト申  
シマセウカ、或程度ノ影響ガ與ヘラル、ト  
考ヘルノデアリマスガ、其ノ影響ト其ノ社  
會制度ヲ擴充スルコトニ依ツテ受ケル利益  
トヲ比較考慮致シマスト、一舉ニシテ多額  
ノ金額ニ上ゲルコトハ重大問題デアルト考  
ヘルノデアリマス、今後民營保險ノ發達、  
其ノ他是ノ簡易保險ノ金額ヲ引上ゲルコト  
ニ依ツテ及ボス影響等ヲ慎重ニ考慮致シマ  
シテ、商工省必ズシモ卑怯ナ考デ應ジ得ナ  
イ譯デハゴザイマセヌガ、サウ云フ點モ十  
分考慮シナクテハ一舉ニ上ゲルコトハ出來  
ナイ、併シナガラ此ノ制度ノ宜シイコトハ  
十分認ヌマシテ、出來ルダケ謂ハバ分ッタ話  
ヲシタイト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デゴ  
ザイマス

ガ、財産ノ管理ノ關係デゴザイマスガ、参考ニ御出シニナツテ居リマスル均等利廻表ニ依リマスレバ、大體四分ト云フ所ヲ押ヘテ居ルヤウデアリマス、此ノ程度ニ於テ今日カラ見タ、ドウモ長キ將來ノコトデスカラ、殊ニ生命保険ハエライ將來迄見通スコトハ出来ヌデセウ、今日ノ考ハ先ヅ集積サレタル資金ヲ四分ニ利廻シテ行ケバ宜イト云フ考ガアラレルノデスカ、或ハ是ハ唯單純ナ参考ニ過ギナインデアリマスカ、是ハ参考ニ過ギナイトスレバ、實際ニ於テドノ位ニ集積サレタル資金ヲ利殖シタラ、保険金ノ支拂ト云フモノハ可能デアルカ、其ノコトヲ承リタイ、今一點附加ヘマシテ、大體是ハ有價證券其ノ他之ニ類似スルモノニ保険會社ハ投資サレテ、利廻ヲ得テ居ルヤウデアリマスガ、併シ保険會社ト云フモノハ、生命保険ト云フモノハ、可ナリ長イ存在ヲ必要トスル譯デアリマスカラ、從ツテ保険會社ハ大キイ「ビルディング」ヲ建設シテヤツテ居ルヤウナコトモ、サウ云フコトカラ來ルト思フノデス、併シ不動產即チ固定資本ノ面ニ投資スルト云フヤウナコトニ付テハ、餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、實際日本ノ建物ノ如キハ、土地ハ別ト致シマシテ、建物ハサウ長ク持タヌモノデ

アル、然ルニ在來サウ云フ風ナ不動産ニ投  
資シテ、ソレガ爲ニ會社ガ大分損害シタヤ  
フ不動產面ニ對シテハ、政府ハサウ云フコ  
トハ大體適當デハナイト云フ風ナ御考ヘ方  
キデアルト云フ御考デアルカ、或ハ土地ノ  
デアルカ、或ハ土地トカ若シクハ永久性ヲ  
持ツタ所ノ建物ニ付テハ、投資ヲシテ然ルベ  
如キハ自然是以上申ビルモノデアルカラ、  
長キ將來ニ亘ツテハ價格ガ騰貴スルコトハ  
勿論デアル、斯ウ云フコト迄制限シテ、土  
地ニ對シテハ買受ケルト云フコトハ別デア  
リマスルガ、土地ヲ擔保トシテ貸付ケテ置  
クト云フヤウナコトヲ敢テ制限スル必要ハ  
ナイト思フ、又百年モ持ツヤウナ建物ニ對  
シテ投資ヲシテ、相當ナ利ヲ得ルト云フコ  
トハ、一向之ヲ拒ムベキ理由ガナイト思ヒ  
マスルガ、サウ云フコトニ關シマスル即チ  
財產ノ利殖ト云フ關係ニ付テ、政府ノ御考  
ヲ承ツテ置キタイ

ガ、豫定利率ガ大概四分ニナッテ居リマス  
關係上、四分ノ利廻デハ少シ經營ニ困難デ  
ゴザイマス、現在ノ狀態ヲ申上ゲマスト、  
各會社ノ資產ノ運用利廻ハ五分三厘強ニナッ  
テ居リマス、是等ノ利廻ニ依ツテ生ジマシ  
タル剩餘金ハ、八割ノ餘ヲ契約者ニ返シテ  
契約者配當ト云フコトニナツテ居ル譯デゴ  
ザイマス、均等利廻ニ書イテ居リマスノハ、  
一例ニ過ギナイコト御承知ヲ願ヒタイノ  
ニ於キマシテハ、事業ノ性質上契約等モ長  
期ニ亘ルモノデゴザイマシテ、其ノ資產運  
用ニ付キマシテハ、其ノ長期契約ト云フコ  
トヲ頭ニ置イテヤルベキデハナイカ、從ツ  
デアルカラ、相當長イ間ノ契約等ヲナシテ、  
或ハ固定資本、不動產等ニ對スル貸出モ宜  
イデハナイカト云フ御趣旨デアリマシテ、  
御尤ト考ヘマス、唯保險會社ノ資產ハ相當  
年々非常ニ大キク殖エテ參リマスカラ、其  
ノ或部分ハ制限ヲ加ヘナイト、無制限ニシ  
レガ宜シイト云フコトニナリマスルト、多  
額ノ資本ヲ持ツテ居リマスル會社ニ於キマ  
シテハ、見在五億以上ノ資金ヲ持ツテ居レ所

ガゴザイマス、ソレ等ノモノカラ考へマシテモ、矢張リ資金ヲ色々ニ方面ニ危險分散ノ意味デ運用セシムルト云フコトガ、其ノ保険會社ノ財政ノ健全ヲ圖ルト云フ意味カラモ最モ適當デアラウト考ヘマシテ、施行規則等ニ於キマシテ、其ノ運用資金ノ運用方面ニ於ケル種類ニ對シテ、或種ノ制限ヲ規定シテ居リマシテ、サウシテ會社ノヤリ方等ヲ見マシテ、尙基礎書類ニ於キマシテ、財產利用方法上ノ制限ヲ附スルト云フコトヲヤツテ居リマスルガ、今仰セノ點ハ尤ト考ヘテ居リマス、唯資金ノ非常ニ多クナッタモノニ對シマシテハ無制限ニヤルコトモ亦一面弊害ガアラウカト考ヘマシテ、今申上ゲタヤウナ方針ヲ採ッテ行キタイト思ヒマスクニ仁井田益太郎君　昨日述べタコトニ關聯シテ一應伺ッテ置キタインデスガ、是ハ第一條ニ關スルコトデアリマスガ、ドウ云フ統制協定ノ命令ヲ主務大臣ガスルノデアルカト云フコトヲ伺ヒマシテ、何カ書附デモ頂戴スレバ結構ダト申上ゲマシタ處ガ、今日「保險業法改正法律案ニ基ク命令案要綱」ト云フモノヲ御示シ下スッテ、能ク分タノデアリマスガ、之ニ依ルト、從來ノ協定ノ例ヲ茲ニ掲ゲテアルノデアリマスガ、此ノ外ニモダ目當充利私毛乞合ベキ事項ガア

ルモノト思フノデアリマスガ、其ノ邊ノ御考ハ如何デアリマセウカ、之ヲ頂戴シテ置イタダケデハ速記録ニ残リマセヌカラ、一應其ノ點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス  
○政府委員(牧橋雄君) 御答へ致シマス、此ノ十一條ノ協定ハ先程申上ゲマシタ通りニ、保険會社ノ不當競争カラ生ズル弊害ヲ除去スルコトニ資セシメヨウト云フ趣旨デゴザイマシテ、協定ノ例ト致シマシテハ、生命保険ニ於キマシテハ保険外務員給與ニ關スル協定、保険外務員ノ雇傭條件ニ關スル協定、代理店手數料ニ關スル協定、ソレカラ協定、紹介手數料ニ關スル協定、代理店手數料ニ關スル協定、再保險手數料ニ關スル協定、紹介手數料ニ關スル協定、代理店手數料ニ關スル協定、再保險手數料ニ關スル協定、其ノ他二三ノモノガ現在考ヘラレテ居リマス、結局不當競争ヲ防止スルコトニ資スルヤウナ協定ヲ命令ニ依リマシテ明示シタイト云フ考デゴザイマス、尙其ノ命令ニハ届出方法、例ヘバ期日等ノコトヲ規定致シタイト考ヘテ居リマス

轉ニ關スル協議ヲ爲サズ若ハ爲スコト能ハズ又ハ協議調ハザルトキハ主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ契約ノ移轉ニ付必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得」斯ウ書イテアルノデ、此處デ言フ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」ト云フノハ一體ドウ云フコトヲ定メル御趣意デアルカト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、處ガ只今頂戴シタ此ノ要綱ノ中ノ第百二十一條關係ノ勅令ノ趣旨トシテ、「商工大臣決定ヲ爲サントスルトキハ期間ヲ指定シテ各會社ニ意見書提出ノ機會ヲ與フルモノトスルコト」、「決定ニハ理由ヲ附スルモノトスルコト」、「斯ウアルノデスガ、新シイコトハ唯期間ヲ指定スルト云フコトト、決定ニハ理由ヲ附スルト云フコトガアルダケデアリマス、果シテ此ノ程度ノモノデアルカドウカ分リマセヌガ、是ダケノコトヲドウモ勅令デ規定スル程ノコトモナササウニ思フノデスガ、此ノ統制協定ノ如キモノハ主務大臣ノ命令デ、此ノ統制協定ノ如キモノハ主務大臣ノ命令デヤル、只今ノ決定ヲ爲スニ付テノ準則モ矢張リ主務大臣ノ命令位デ差支ナイデヤナイカ、勅令デ是ダケノコトヲヤル必要モナササウデスガ、ドウ云フ譯デ特ニ勅令トセラレタノデアルカ、勅令デ命令ニ讓ルコトモ出來マスカラ、恐ラク勅令ガ出ル時ニハ

規定スト、一條ノ勅令デ濟ムノヂヤナイカ  
ト思フノデアリマスガ、ドウモ少シ勅令ハ  
重過ギルト思ヒマスガ、何カ特別ノ理由ガ  
アルノカ、ソレヲ序ニ伺ッテ置キマズ

○政府委員(牧檍雄君) 決定ヲ爲ス場合ニ  
勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フコトハ規定シ  
テゴザイマシテ、其ノ勅令ノ内容ハ今御話  
ノ通リニナツテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ  
御手許ニ差上ゲタト思ヒマスガ、重要鑑物

増産法ノ場合ト同ジデゴザイマスルカラ、  
同ジヤウナ建前ヲ取ツタノデアリマス、モウ  
一ツハ此ノ決定ニ依リマシテ財産關係等ニ  
於キマシテ、終局的ナ決定ヲ爲スヤウナ重  
要ナモノデアルト考ヘマシテ、此ノ點ヲ勅  
令ニ定メタ譯デゴザイマス

○仁井田益太郎君 議論ノヤウニナリマス  
ガ、實ハ定メルコトガ寧ロ技術的ノコトデ  
スガ、司法關係ノ影響ノアルモノナラバ、勅  
令ノ方ガ誠ニ結構ト思ヒマスガ、決定ヲス  
ル迄ハ期間ヲ指定スルト云フコトガ新シク  
此ノ勅令ニ規定サレ、決定ニハ理由ヲ附ス  
ルト云フ理由デ、多少司法關係ニ付テ斯ウ  
スルノガ宜イト云フヤウナコトガ分ルコト  
ニナリマセウケレドモ、ドウモチヨット勅令  
ニ定ムルト云フノハ、大體他ノ法令デハ全  
體ガ勅令デ出テ居ルガ、何カ特別ノ事情方

アルト思ヒマスガ、強ヒテ御尋ネスル必要  
モアリマセヌカラ、是ダケデ止メテ置キマ  
ス

○委員長(伯爵樺山愛輔君) 四時迄ト申上  
ゲテ置キマシタガ、モウ今日ハ此ノ程度デ  
止メマシテ、明朝十時カラ御願ビシタイト  
思ヒマス、是デ散會致シマス

午後四時十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵樺山	愛輔君
副委員長	男爵矢吹	省三君
委員		

公爵山縣	有道君
侯爵淺野	長之君
子爵曾我	祐邦君

仁井田益太郎君	
男爵伊藤	文吉君
男爵中村	謙一君
山岡萬之助君	

藤原銀次郎君	
大藪	守治君

大和田健三郎君	
橋雄君	

政府委員

商工省保險局長 牧 橋雄君